



『幸せになる勇気』
岸見一郎・古賀史健 著
ダイヤモンド社、2016年
ISBN: 9784478066119
配置場所: 開架 西館2階
請求記号: 146.1||K1 58

私のすすめるこの1冊

岡田 敏之(教育支援センター 教授)

『嫌われる勇気』

岸見一郎・古賀史健(著)

皆さんもご存じのように、この本は2年半ほど前に出版されて以来、ベストセラーとなっている本です。出版されて間もないこの本の奇抜な題字にまず目がとまりました。私は、心理の専門家ではないのですが、以前の職場におられたカウンセラー(臨床心理士)の方々から様々なことを教えていただき、ユングやフロイトに関する本も少しは読みました。ところが、心理学の三大巨頭と呼ばれるもう一人のアドラーについての知識が全くなかったのが、この本への興味につながったようにも思います。つまり、私がこれまで実践してきた生徒指導とこのアドラー心理学との共通点はあるのか、またはその考えから理論の裏付けなどが行えるのかなどを考えながら読みたと思いました。

この話の内容は、幼い頃から自分に自信が持てず、出自や容姿、学歴にも強い劣等感を持っている「青年」(アドラーがモデルになっているとも考えられる)と「哲人」と呼ばれる哲学者との会話により話は進んでいくのですが、この青年が非常に理屈っぽい。これだけひねくれた考えを遠慮もなく、次々に哲人に浴びせかけるのは、「失礼なヤツ」と思いながらも、読んでいるうちに痛快に感じることもありました。

考えさせられたことはたくさんありました。例えば、アドラー心理学では、他者から承認を求めることを否定しているということです。私は、今まで子どもたちの自己有用感を高める指導に心がけてきました。なぜなら、自分が誰かの役に立ち、認められ、必要とされているという実感

が子どもたちの意欲を育て、力強く生きていくためのエネルギーになると考えているからです。しかし、それはともすると何かを判断する際の基準が自分の意思ではなく「他者からどう思われるか」にすりかわってしまう危険も孕みます。承認欲求の危うさはここにあり、下手をすると賞罰教育につながる落とし穴があります。ただし、この本では「他者貢献」については「自由なる人生の大きな指針」ともされています。また、アドラー心理学は、「勇気づけ」の心理学とも言われ、この考え方はまさにコーチングのスキルであると言えます。

19世紀生まれの心理学者が唱えた学説が、現代の生徒指導のあり方に生きている。これまでの実践を振り返りながら、とても楽しく読めた1冊でした。この学説や思想を支持するわけではありませんが、考え方の幅を広げることができる本であると思います。これから教員をめざす学生はもちろん、自分の進路に悩んでいる人にも是非読んでいただきたいと思います。

また、続編の『幸せになる勇気』では、小学校教員になった「青年」が3年後に再び「哲人」のもとを訪れ「アドラーの思想はペテンです。とんだペテンです。いや、それどころか、害悪をもたらす危険思想と言わざるをえません」と言い放つところから始まります。この青年が、アドラー心理学を教育でどのような実践に結びつけようとしたのか楽しみです。

夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月27日(水)～9月20日(火)
院生・教職員：7月13日(水)～9月6日(火)
【返却期限日】2016年10月5日(水)
※卒業・修了予定者は9月10日(土)まで
※視聴覚資料を除く

雑誌の製本作業について

8月から10月初旬(予定)まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2014年～2015年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。製本後はすべて西館3階(書庫)に並べますので、そちらをご利用ください。
※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

職場体験 終了報告

今年度は、下記のとおり職場体験実習を受け入れました。カウンターでの貸出・返却業務の他、新書の移動に伴う装備変更や配架などの業務を体験してもらいました。

6月7、9～10日 ……京都市立大淀中学校
6月29日～7月1日… 附属桃山中学校
7月26日～27日 ……附属特別支援学校

皆さまにはカウンター業務などの際にご協力いただきありがとうございました。

2016 オープンキャンパス 8月17日(水)11:30～16:30

通常通り開館していますが、混み合うことが予想されます。申し訳ありませんが、ご理解いただけますようお願いいたします。



学修相談カウンター

8・9月はお休みです

10月には再開予定ですので、どんどん利用してください！

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画を始めました！

- リクエストは随時受け付けています
 - ・学習研究目的のものは原則として購入します。
 - ・学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受け付けた分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。(結果によっては購入できないこともあります。)
- リクエストや投票にどんどん参加してください！

※8月の投票期間は
8月17日(水)～8月31日(水)です。
図書館1階渡り廊下に掲示しています。

読みたい本に投票しよう！(1日1ポイントまで)

- 6月の投票で購入した本を北館2階に並べています。

…こんな本を購入しました…

『翻訳できない世界のことは』

エラ・フランシス・サンダース著、創元社

『人生はワンチャンス!』

水野敬也・長沼直樹著、文響社

『クックパッドみんなのおにぎらず』主婦の友社

『京都の凸凹を歩く』梅林秀行、青幻舎 他11冊
※貸出できます。貸出中の場合は予約してください。

図書館員のつぶやき(16) ～図書館内での飲み物について～

暑い夏、勉強しているとのどが渇く季節ですね。図書館では、昨年7月から図書館の一部のエリアでふた付きの密閉できる容器に入った飲み物を飲むことができるようにしました。水分補給をしつつ、試験や集中講義期間の勉強を乗り切ってください！

ただし、図書館資料の保護のため、①着席して飲む、②飲まない時はカバンにしまう、といったルールを守ってください。机の上に置いてうっかり倒してしまった…なんてことや、意外と忘れがちな結露の水滴など、水分は本の大敵です。水濡れ被害が頻発して、やっぱり館内全面飲み物禁止…(泣)！なんてことにならないためにも、皆さまのご協力をお願いします。

《飲み物 OK エリア》

南館1階・2階、西館2階、北館2階研修セミナー室・グループ学習室、西館3階研究個室



京都教育大学
それはかなう夢講座

第2回を実施しました

7月6日(水)、附属図書館1階のリフレッシュラウンジにて「それはかなう夢講座」が実施されました。第2回は、川村泰史研究協力担当課長による「南極・ドームふじ基地での観測活動について」をテーマに、映画『南極料理人』のモチーフとなった第38次南極地域観測隊の体験談が語られ、参加者たちはクイズを交えながらの話に興味深く聞き入っていました。参加者にはおにぎりとお茶が配られ、多くの学生や教職員で賑わいました。

第3回のお知らせ

おにぎり2個&お茶付き!
先着30名

- 【日時】2016年10月の水曜日(予定) 12:10-12:40
- 【場所】附属図書館1階 リフレッシュラウンジ
- 【講師】香川貴志(社会科学科 教授)
- 【テーマ】直下型大地震からの市街地復興を考える
—文理融合的な視点からのクライストチャーチと神戸の比較—



(第2回の様子)

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト準備WG
後援: 京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

えほんのもり (場所: 児童書コーナー)

今月の読み聞かせ会は、
8月22日(月) 15:00~ です。



『海辺のくま』
作: クレイ・カーミッセル
訳: 江國 香織
BL 出版

今月の絵本カードは
こちら!

★あらすじ★

ある島の海辺の家に とうさんのほしくまと クララという女の子がくらしていました。いつも とうさんの夢をみるくまは とうさんに会いたくなり お手紙をかわいたり、いろんなひとたちに聞きました。「ぼくのとうさんを みなかった?」と。そして くまは大切なことに気がついたのです。

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかに毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

企画展示室

◆美術科 基礎ゼミ 作品展

8月1日(月)~8月19日(金)
学生の作品を展示しています。見に来てね!!

◆《公開講座》楽しい塑造教室

—头像とテラコッタ造り— 作品展示
8月23日(火)~26日(金)
10:00~16:50 ※最終日は16:00まで



受講者より、「まなびの森賞」が選ばれます。
昨年度(2015)の受賞作品です。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品
「花こう岩と褐簾石」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てくださいね!



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 **藤岡 秀樹**(教育学科 教授)

校長のライフコースの研究(1)

藤岡 秀樹

京都教育大学紀要. 2015, No.127, pp.1-11

本論文は、お二人の退職校長(α先生 80歳代とβ先生 70歳代)に対して面接調査を行い、ライフコースを分析したものです。研究のきっかけは、山崎準二氏(学習院大学教授)の「教師のライフコース」研究に触発されたことです。山崎氏の研究は、静岡県内の現役及び退職教師に対して、質問紙調査と面接調査を実施し、11の卒業コーホートに分けて縦断的・世代差の分析を行い、教師の力量形成、ライフコースを捉えた優れたものです。

本研究では、対象者を校長経験者に限定し、ライフコースの分析を行うことを目指しました。質的研究である面接調査(半構造化面接)においては、対象者の自己開示が求められるとともに、プライバシーの保護などの倫理的配慮も必要であり、協力者を得ることは容易ではありませんでした。しかしながら、お二人の元校長からは快諾が得られ、2時間以上にわたる面接調査でも、入念な資料(教育実践記録や大学の教職課程を担当した時の講義資料)の準備と失敗や苦悩も含めて多くのことを語っていただき、嬉しく思いました。

面接調査では、学歴、教職歴、大学時代のサークル・自治活動、初任期の教職生活、職員団体の加入の有無と活動内容、民間教育団体の参加と活動、管理職になろうとした動機、管理職時代の教職生活、校長としての学校経営の在り方や管理職のリーダーシップ論、これから教師を目指す大学生へのメッセージ、管理職を目指す中堅教師へのメッセージ、教育委員会や教育行政の在り方などを尋ねました。

2名の結果だけなので過度に一般化することには慎重さが必要ですが、両先生のライフコースに共通点がみられた点も興味深いものでした。①大学生の頃は教職志望動機は高くない、②青年教師の時期には管理職志向はなく、職員団体(組合)には違和感なく参加し役員も経験した、③県及び全国教育研究集会や民間教育団体に参加し、実践を発表した、④指導主事の経験は無い、⑤教職生活の中で小規模へき地校の勤務経験がある、⑥生徒指導上の課題をもつ子どもや障害のある子どもといった援助ニーズの大きい子どもの教育に長く関わった、⑦子どもが主人公の学校づくりを目指した、⑧定年退職後も私学教育の管理職・経営(校長・理事長:α先生)や地方教育行政のトップ(教育長・教育委員長:β先生)として、後輩教師や管理職を指導・助言した一などが共通点です。

現在、他県の退職校長のデータを収集中であり、更なる研究を進めたいと考えています。全国の教職大学院では、ミドルリーダーや管理職の養成を謳うコースも多く、私の研究の知見が何らかの示唆を与える契機になればと思っております。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 127号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2016年8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8/3-8/9 前期末試験

8/10-9/30 夏季休業

8/15-8/16 夏季一斉休業

2016年9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

9/7 館内整理日

9/17 大学院入試(学外者来館不可)

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>



●携帯版図書館ホームページ (QRコード)
<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.191(2016年8月号)
発行日:平成28年8月1日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp